

やさしい病虫害講座 10 名医は何処に？

木村 裕

皆さんは腹が痛くなったら、転んで怪我をしたら、虫歯が痛くなったら、物が見えにくくなったらどうしますか？ ある人は近くの薬局で薬を買って飲む、掛かりつけの医者に行く、いろいろな設備が揃っている病院へゆくなど、思い思いの対策をとられることと思います。その相談相手は、薬剤師、医者、研修医などさまざまですね。名医もいれば藪もいます。

家庭菜園のキュウリやトマトでアオムシが葉を齧っている、庭木に毛虫が群がっているのを発見すると、最初はまず手で1匹ずつ摘まんで（毛虫は無理ですね）、虫の苦手な人は割り箸で処分していることと思いますが、虫が増えてくればお手上げです。どうしましょうか？ 植物の病気や害虫について診断や防除対策をしてくれる医者は何処にいるか分かりますか？

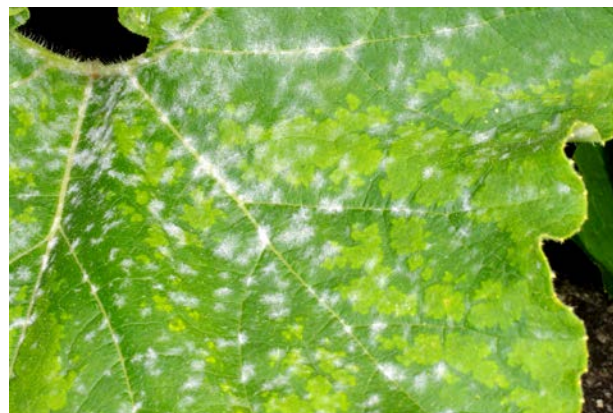
たぶん皆様方はホームセンターの園芸品売り場か園芸店に出かけ、売り場のパートの小母さんに「どうしたらよいのか」と質問し、「マラソン」などを薦められると「なるほど、それが良いのか」と納得して購入・散布されることと思います。本当に効果がありましたか？？ 彼女らが医者の代わりになったのでしょうか？ 答えはノーです。こんなことを言ったら「失礼な！」と叱られるかもしれません。



農作物の病虫害に詳しい医者は残念ながら皆さんの近くにはいません。専門医は県の農業試験場で病虫害防除を担当されている方ですが、奈良県では橿原市にある農業開発研究センターと病虫害防除所にしかおりません。その次に詳しいのが県

の4つの農林振興事務所にいる農業改良普及の専門職員の方ですが、農家の方のご存知ですが皆さんでは何処にあるのか分からないでしょう。その次に詳しいのは農業共同組合（JA ならけん）の営農経済センターの指導員の方です。彼らも非常によく知っています。

皆さんに身近で病虫害に関する知識を持っておられる方は、個人で園芸店を手広く経営されているマスターです。植木に関しては造園業者のマスターです。彼らは県の試験場の専門家の講習をうけるなどよく勉強しています。しかし若い店員さんやパートさんでは残念ながらあまり期待できません。自分よりも少し知識を持っておられる程度と思ったらよいでしょう。



相談をされる場合は人間の医者と同じように患者を連れて行くことが基本です。言葉による説明だけではいくら名医でも正確な診断は出来ません。必ず現物持参で出かけてください。信頼できる名医を探してください。どの名医に診てもらっても無料です。いいですね！

園芸書で調べるのもよい方法ですが、なかなかぴたっと当たるものがなくて頭を悩まされることでしょう。写真が充実している本が望ましいです。しかし、農薬については、日々変化していますので、本にでている農薬が園芸店に行っても必ずしも手に入るとはかぎりません。

コマーシャル！

野菜、花、樹木などの病気や害虫についてのご相談は木村医院まで。健康保険は適用できませんが格安？で診断します。ただし患者同伴でお願いします。